



11月22日（金）に旭小学校で、ありがとうまつりが開催されました。これは、生活科・総合の発表会で、保護者やスクールガードさんなど、普段お世話になっている地域の方を招待して、感謝をお伝えする催しです。この中で、海に関する発表も見られたので紹介します。

1年生は、自分たちで学習した海の生き物の生態について発表しました。

3年生は、マグロの種類や漁の仕方、料理方法などについて調査・発表しました。

6年生は、海洋プラスチックごみが海の生き物たちに与える影響について調べ、実際に三浦海岸へ出かけ、流れ着いたごみを集めた結果を、グループごとに発表しました。（事前の授業で、SDGsに関する学習も行われました。）



先日、海藻おしば教室に参加した上宮田小学校3年生が、完成した海藻おしばのはがきを使った壁新聞を作ったと聞いて、取材に行ってきました。

子どもたちは、海藻おしば教室を通して、海藻が世界に1万種類もあること、海藻には、大きく分けて、緑藻（りょくそう）、褐藻（かっそう）、紅藻（こうそう）の3種類があること、海藻には、海をきれいにする働きがあること、海藻などの海の森が減少していることなどをまとめていました。また、海藻と海草の違いに触れている児童もいました。

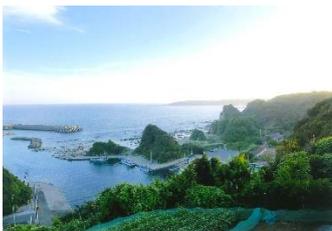


そのほかにも、以前観音崎自然博物館を見学したときのまとめや、海の生き物をテーマにした図画工作の作品なども掲示してありました。



各学校での、海洋教育の広がりがよくわかりました。

NO. 33で紹介した、長浜海岸に打ち上げられたウミガメの件を、本研究所のfacebookに投稿したところ、市民の方から、「諸磯の沖にもいますよ」というコメントをいただきました。身近にも、ウミガメが生息しているんですね。本研究所のfacebookは、海洋教育ネットワーク通信で紹介したことを中心に、三浦市の海洋教育の紹介をしています。一般に公開していますので、「みうら学・海洋教育研究所」にアクセスして、コメントをいただければありがたいです。



左の写真は、海洋教育写真コンテストで、優秀賞となった作品で、タイトルは「水平線」。作者は、どうしても水平線を撮りたいといって、宮川湾まで来たそうです。この話を聞いて、房総半島、伊豆半島に囲まれ、南には城ヶ島がある三浦市で水平線を見ることの難しさに初めて気が付きました。もちろん、城ヶ島などに行けば水平線が見えるのですが、市全体で考えてみると、多くの場所からは水平線が見えません。子どもの写真から得た新しい発見でした。

（文責 事務局長 渋谷）

旧年中はありがとうございました。本年もよろしく願いいたします。